



第439号

2019年9月20日発行
日工同窓会広報委員会
編集責任者

瀧澤 之靖
発行人 細金 敦

日工同窓会事務局
日工同窓会館
〒317-0077
日立市城南町5丁目14番13号
TEL (0294) - 21 - 5237
FAX (0294) - 21 - 5241
E-mail:
dosokaij@net1.jway.ne.jp
http://nikkoudousoukai.net/

印刷所
大成印刷株式会社

「働きがいのある職場づくり」



三菱日立パワーシステムズ株式会社
タービングローバル製造総括部

部長 円山 寿一

日工同窓会の皆様におかれましては、モノづくり企業の第一線でご活躍され、平素より生産活動にご尽力いただいておりますことを深く感謝申し上げます。また、日工同窓会は来年100周年を迎えることになり、これが、これまで諸先輩の方々が築き上げ、引き継いでこられた技能、人材、伝統が今の会社の貴重な財産になっていることは言うまでもありません。改めて敬意を表したいと思います。

小職が所属する三菱日立パワーシステムズは、2014年2月1日付で三菱重工と日立製作所の火力事業が統合してできた会社です。昨今、世界的な脱炭素化の流れにより、火力事業の環境は厳しくなり、当社

は競合他社に打ち勝つべく生き残りを目指し、平素より生産活動にご尽力いただいておりますことを深く感謝申し上げます。また、日工同窓会は来年100周年を迎えることになり、これが、これまで諸先輩の方々が築き上げ、引き継いでこられた技能、人材、伝統が今の会社の貴重な財産になっていることは言うまでもありません。改めて敬意を表したいと思います。

場づくりが必要不可欠です。働きがいのある職場(会社)について調べてみると、意識調査機関「Great Place to Work」は、従業員から見た働きがいとは「従業員が経営者・管理者を信頼し、自分の仕事に誇りを持ち、一緒に働いている人たちと連帯感を持つる会社」と定義しています。キーワードは、「信頼」「誇り」「連帯感」です。このキーワードを意識して行動すれば職場を改善できるものと思います。

また、今年4月より働き方改革関連法案が施行され、働き方改革が注目されていますが、働きがいのある職場は、「働きやすさ」「やりがい」が揃っていることが条件であると言われています。「働きやすさ」は、就労条件や報酬条件等のものであり、「やりがい」は、仕事に対するやる気やモチベーション等のことですが、「働きやすさ」だけでは「ぬるま湯職場」となるため、生産性を上げるには「やりがい職場」にすることが重要になります。

従業員は、与えられた業務に対して、改善意欲を持って取り組み、競争相手(競合他社)に対して絶対負けないという気持ちを持つことが重要です。

今号の主な内容

事業所幹部ご所感	1面
技能五輪国際大会結果	2面
支部長登場	3面
各支部ヒアパーティ	4~6面
学校だより	7~9面
本部会員の頁	10~11面
部活動訪問(剣道部)	11面
社外表彰、会員の消息	12面
日専校新入生募集・編集後記	12面



同窓会ホームページはスマートフォン等からも上記のQRコードを読み取るだけで簡単にアクセスが可能です!

要です。技能五輪、社内外の競技会、課対抗行事等にも積極的に参加し、職場として一体となって取り組むことも重要であり、その結果や過程で一定の成績が得られれば、達成感や連帯感もより高まると思います。

働きがいのある職場について述べさせていただきましたが、やはり最も重要なのは職場のコミュニケーションだと考えます。日工同窓会の皆様は、日専校時代からの先輩・後輩・同級生といった繋がりがありませんので、職場での問題や悩み事について相談し合える関係が既に構築されていることが強みだと思います。今後も日工同窓会の活動を通して、この関係を維持していけば、困った時に、助け合うことができると思います。また、各職場において、皆様健康で明るく元気に前向きに仕事ができることが、個人の成長、そして会社の発展にも繋がると信じております。

最後になりましたが、日工同窓会の益々のご発展と会員皆様、並びにご家族皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

第45回技能五輪国際大会にて同窓生がメダル獲得

8月22日から27日までロシア連邦・カザンにて開催された第45回技能五輪国際大会において、日本代表として同窓生3名が出場し、見事に入賞を果たした。

◎菊池 優斗(101卒) 選手

CNCフライス盤職種 銀メダル

(株) 日立ハイテクノロジーズ



◎吉田 悠太(102卒) 選手

溶接職種 銅メダル

(株) 日立インダストリアルプロダクツ



支部長登場

那珂支部



支部長 鎌田 政人(74卒)

那珂支部は1961年に多賀工場から那珂工場として独立と同時に発足し、令和元年で58周年を迎えました。時代の流れと共に社名の変更等の経緯を経て現在(株)日立ハイテクノロジーズ、(株)日立ハイテクマニファクチャ&サービス及び(株)

◎沼畑 辰也(102卒) 選手

機械製図CAD職種 敢闘賞

(株) 日立ハイテクノロジーズ



以上3選手の健闘に敬意を表すると共に今後の活躍に期待する。尚3選手の世界大会に参加しての感想を次号に掲載予定。

日立ハイテクソリューションズに在籍する267名(2019年9月現在)の会員で活動しています。

那珂支部では、医用分析装置、DNAシーケンサや電子顕微鏡など世界トップシェアを誇る製品を生産しています。

製造部門を中心に多くの職場に会員が在籍しており、会員同士の繋がりを大切に、日々の仕事や同窓会活動に取り組んでいます。また、技能伝承については、今年の8月に開催された技能五輪国際大会に、CNCフライス盤職種1名、機械製図CAD職種1名の同窓生が出演し、それぞれ銀メダルと敢闘賞を受賞しました。さらに今年の11月に開催される技能五輪全国大会には、旋盤職種2名、フライス盤職種2名、メカトロニクス職種4名、機械製図1名の同窓生が出演します。優秀な成績が収

められるように同窓会としても全力でバックアップする所存です。

支部行事としては、会員の親睦を図ることを目的とし、4月の新人歓迎会を兼ねた総会に始まり、5月にはランチミーティング形式でのブロック幹事研修会や新入会員研修会を実施、7月には最大のイベントである豪華景品が当たる抽選会を盛り込んだピ

* 支部長ってこんな人 *

私の趣味は、ソフトボールと家族旅行で、ソフトボールは約15年前に、近所の親父たちが13名ほど集まってチームが発足し、現在は老若男女、約40名の大所帯のチームになりました。毎週土曜日の朝6時半から近所の小学校のグラウンドで、約1カ月間のシーズンオフを除いて毎週練習しています。そのチームでは、同窓会行事のように5月にはBBQ、8月には流しそうめん&BBQ、12月には忘年会、2月には新年会、さらに春と秋には地域ボランティアで草刈りなどをしており、とても居心地がよいチームです。生きている限りこのチームでソフトボールを続けられることと家族が健康で、いろんなところに旅行したいというのが私のささやかな願いです。



ソフトボールチーム



流しそうめん & BBQ

ル祭りを開催しました。さらには10月には実習生歓迎会を予定しています。那珂支部には、黄綬褒章受章や技能五輪メダリストなど多くの優秀な先輩がいる中で、若輩者の私が支部長であることに恐縮しておりますが、今後も優秀な役員と共に先輩方が築きあげてきた歴史と伝統を守り、若手の育成、会員の幸福と支部の発展のために邁進してまいります。最後に日工同窓会の益々の発展と会員皆様方のご健勝を祈念するとともに那珂支部へのご指導、ご支援をよろしく願いたします。

主要製品



医用分析装置



DNAシーケンサ



電子顕微鏡

2019年度支部ビアパーティが盛大に開催される!

大みか支部



- 開催日：2019/8/2(金)
- 参加者：114名
- 開催場所：泉山クラブ

国分支部



- 開催日：2019/9/6(金)
- 参加者：75名
- 開催場所：要害クラブ

日立支部



- 開催日：2019/8/2(金)
- 参加者：302名
- 開催場所：ホテルテラス ザスクエア日立

佐和支部[Ⅱ]



- 開催日：2019/9/13(金)
- 参加者：86名
- 開催場所：クリスタルパレス

佐和支部[Ⅰ]



- 開催日：2019/9/6(金)
- 参加者：87名
- 開催場所：クリスタルパレス

日研支部



- 開催日：2019/8/30(金)
- 参加者：18名
- 開催場所：居酒屋 大将

豊浦支部



- 開催日：2019/7/19(金)
- 参加者：15名
- 開催場所：焼肉ふざん

水戸支部



- 開催日：2019/8/5(月)
- 参加者：77名
- 開催場所：クリスタルパレス

那珂支部



- 開催日：2019/7/24(水)
- 参加者：113名
- 開催場所：クリスタルパレス

下館支部



- 開催日：2019/9/14(土)
- 参加者：50名
- 開催場所：ダイヤモンドホール

建機支部



- 開催日：2019/8/9(金)
- 参加者：11名(勝田地区)
- 開催場所：焼肉キング

土浦支部



- 開催日：2019/8/30(金)
- 参加者：41名
- 開催場所：建友クラブ

学校だより

都市対抗野球応援 東京ドームにて

今回、東京ドームの応援に本校吹奏楽部の他に応援リーダーが初めて動員されることになった。



【応援リーダー3M1與澤】日立製作所の応援団の一員になると先生から伝えられた時、私はとても嬉しかったです。私はもともと日立製作所の応援団に憧れていて、いつか自分も出来たらいいなあと思っていました。リハーサルにも参加させていただき、日立製作所の応援団の人達の応援のレベルの高さを知りました。そして本

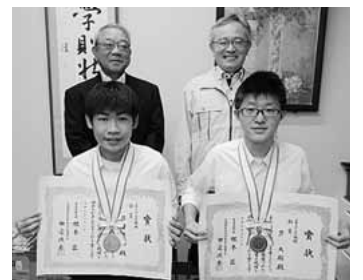
番、緊張しながらも自分たちが担当したユーロビートとヨイヨイヨイ、ハカなどの踊りを見ることが出来ました。あの東京ドームの舞台で応援を行えたということはとても誇らしいことです。この応援団で培った精神を自分の今後にも繋げていきたいらと思っています。本当にありがとうございます。

【吹奏楽部長2M青木】「やったー！東京ドームだ！勝利が決まった瞬間、胸が高鳴りました。それから、日立大応援団の方々の練習で親睦を深めることができたので、更に部員の士気が上がり、東京ドームでの演奏が楽しみになりました。初めて応援席に着いた時、あまりの広さに感動しました。第3・第4試合では、日専校生全員で応援することができたのが良い思い出です。得点が入る度に演奏した「ヨイヨイヨイ」で感じた一体感が最高でした。お世話になった日立大応援団の方々や顧問の先生にとっても感謝しています。日立製作所野球部の皆さん、来年もぜひ東京ドームへ連れて行ってください。

第14回若年者 ものづくり競技大会

「メカトロニクス」職種出場

7月31日(水)、8月1日(木)両日、福岡県福岡市マリメッセ福岡で同



茨城県職業能力開発協会
羽沢会長【後列】山崎校長
芦澤 優知 芦 大翔



大会が実施された。3E 芦大翔、芦澤 優知が出場し28チーム中第4位と健闘し銅メダルを獲得することが出来た。

3種類の課題があり、第一課題「生産設備を仕様書により一部改造」は電気科の実力を発揮し一位で通過したが、第二課題「正常でない設備の異常箇所特定・修理・調整」は、調整に時間を要し9位と出遅れた。第三課題「第一課題の改造」では、2位と挽回した。両名とも緊張から

イージーミスは多少あったが最後まで諦めずにベストを尽くし頑張った。将来の技能五輪大会に向けていい経験を積むことができた。来年は、念願の金メダルを獲得できるように、これまで培ったノウハウを活かし訓練を行っていききたい。

科技高生活体験 発表大会に出場

7月5日(金)

科技高本校で、2W本多颯大が「私が精一杯生きる理由」と題して、本校を代表して体験発表を行い優秀賞を獲得した。

【本多】最初は緊張していましたが本番では緊張せず原稿通り発表することができました。しかし、みんなの発表を聞いてとても驚きました。それは発表一つひとつに思いがこもっており聞いただけで心に響く素晴らしいものだったからです。私は、発表で感動すると同時に少し虚しい気持ちになりました。私自身精一杯努力し生活体験発表に挑みましたが、同じ学年や年下なのにこんなに発表に差があることにショックを受けました。自分をさらに成長させるためには、努力は当たり前ですが、色々なことを経験すること、そして自分より、優れている人と自分の違いに気付くことが大事だと思います。



3年機械技能照査全員合格

認定職業訓練校の終了試験として、3年機械科全員が技能照査を受験した。7月2日に実技試験、7月18日に学科試験を実施。機械加工科36人は普通旋盤2級検定課題を、精密加工科6名は、金型仕上げ2級課題を実技課題として取り組んだ。実技は、実習の成果が生かされて全員余裕を持った成績で合格することが出来た。



金型仕上げ作業



普通旋盤作業

第57回技能五輪全国大会 旋盤職種2次予選実施

7月27日、28日の2日間にわたり本校の機械実習棟にて技能五輪全国大会旋盤職種2次予選会が開催された。本校で2次予選会が実施されるのは初めてである。2次予選会には本

(5頁へ続く)

(4頁の続き)

校(日立会場)を含め中部会場、関西会場の3ヶ所で開催され、全国から84名の選手が出場し各会場にて競技を行った。日専校では、3年生の塚本、西田選手、2年生では安達、吉田選手が参加した。3年生は、2回目の参加となり試行錯誤しながら訓練を行い、2年生は、初めての参加であり先輩に続こうと必死に頑張っていた。予選結果は、3年生の塚本選手が学生では唯一の2次予選通過者となり、11月に行われる全国大会に挑む事となった。全国大会でも日専校代表として高校生らしい頑張りに期待したい。



3年生 西田 塚本
2年生 安達 吉田

2020年度

専門課程入学試験実施

7月26日(金)に学力試験と面接を実施した。受験生は、遠方は石川県・富山県より、総勢18人が緊張し

第57回技能五輪 全国大会出場者決定

7月27日(土)の技能五輪全国大会旋盤職種2次予選の結果をうけて、本校在学生の技能五輪全国大会出場者は、電気溶接職種3W角守 桂亮



3W 宮嶋 慎悟 旋盤 職種の3名となった。本大会で日頃の訓練の成果を十分に発揮できるよう鍛錬してもらいたい。

た面持ちで試験に臨んでいた。選考結果8人が合格入学の確約を得た。来年度の入学を楽しみにしたい。



学科試験風景

トヨタ工業学園との交流会実施

7月18日(木)〜20日(土)本校にてトヨタ工業学園(10人)と交流会を行いました。本校からは生徒会と寮役員が参加、私にとっては2回目となります。1回目の交流会ではトヨタ学園の生徒が主体でしたが、今回は日専校生主体で行いました。内容としては、学校紹介・見学、パンポン交流、BBQなど、また、発明考動アクションとして『使いやすいペン立て』を厚紙、ハサミ、テー

プだけでどのようにして作るかグループ単位でディスカッションし、作り上げました。情報交換では日専校の2年生とトヨタ学園の生徒がリーダースキルの向上、またより良い学校・寮をつくる方法など話し合いました。全体を通して感じたことは、日専校の改善しなければいけないところを改めて考えさせられたこと、また、考動アクションを通して生徒主体で活動することは増えてきたのですが、5Sであったり礼儀に関しては、まだまだ改善が必要だということとです。今後1つでも多く改善できるように取り組んでいきます。今回の交流会で学んだことはたくさんあります。その得た知識をこれからの生活などに活かしていきたいと思えます。来年の交流会では今回の反省を活かし有意義な時間にしていただきたいと思います。



BBQ懇親会



ディスカッション



パンポン



電気実習見学

【生徒会長 宮嶋慎悟】

なった。競技は個人競泳と水中宝探し、水中的当て、むかで歩き、メドレーリレーの団体競技である。プールサイドの声援で大いに盛り上がった。特に3年生にとつては学校で最後の行事であり、気合が入っていた。1位は3年電気科でメドレーリレーの1位でぶつちぎりの優勝となった。2位2年溶接科、3位3年溶接科であった。副賞は恒例のBBQであった。



優勝 3年電気科



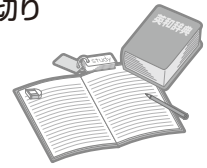
水中的当て

水泳大会実施

9月5日(木)秋雨前線の影響で雨と肌寒さが心配される中、恒例の水泳大会が開催された。競技開始ころから晴天となりまさに水泳日和と

学 校 行 事 (2019.10~2019.11)

10/1(火)	後期授業開始	11/14(木)	高等課程入学願書受付開始
10/9(水)	3年生工場実習開始	11/15(金)	計算技術検定
10/12(土)	高等課程体験入学会④	11/22(金)	高等課程入学願書締切り
10/21(月)	OB日専校訪問	11/23(土)	日専祭・保護者会
10/21(月)	溶接 JIS 検定(2年溶接科)	11/28(木)、29(金)	後期中間試験
11/8(金)	日本語検定(全員)	11/29(金)	寮避難訓練



10月~11月の部活動予定

五輪部	11/14(木)-16(土)	第57回技能五輪全国大会(旋盤職種)	愛知県国際展示場
	11/9(土)-10(日)	第57回技能五輪全国大会(電気溶接職種)	愛知県名古屋高等技術専門校
卓球部	10/26(土)	全日本ジュニアダブルス 県予選	アダストリアみとアリーナ
	11/12(火)、13(水)	県新人戦(団体)	ひたちなか市体育館
	11/30(土)	東京選手権ジュニアの部県予選	池の川さくらアリーナ
バスケットボール部	11/25(月)~27(水)	新人バスケットボール大会県北地区予選会	池の川さくらアリーナ(27日は未定)
ソフトテニス部	10/22(火)	県北地区高校ソフトテニス新人大会(男子個人)	北茨城市磯原地区公園テニスコート
	10/26(土)	県北地区高校ソフトテニス新人大会(男子団体)	北茨城市磯原地区公園テニスコート
	11/17(日)	県高校ソフトテニス新人大会(男子個人)	北茨城市磯原地区公園テニスコート
	11/8(金)、9(土)	県高校ソフトテニス新人大会(男子団体)	北茨城市磯原地区公園テニスコート
剣道部	10/12(土)	三段以下昇段審査	茨城県武道館
	10/20(日)	第62回日立市民剣道大会	日製日立体育館
	10/26(土)、27(日)	第12回上毛新聞社旗争奪高校剣道大会	船橋アリーナ
	11/10(日)	茨城県勝ち抜き高校剣道大会	笠間市民体育館
サッカー部	10/19(土)~	選手権大会茨城県大会決勝トーナメント	未定
	11/26(火)	新人戦茨城県県北予選	//
陸上部	10/31(木)	県高校駅伝大会	那珂総合運動公園周辺
	11/9(土)、10(日)	県北地区新人大会	笠松運動公園陸上競技場
野球部	11/2(土)	日立市大会 1回戦	日立市民球場
	11/4(月)	日立市大会 準決勝・決勝	日立市民球場
吹奏楽部	10/27(日)	茨城県芸術祭 ビッグバンドJazzフェスティバル	小美玉市四季文化館みのーれ
	11/16(土)	茨城県アンサンブルコンテスト 県北地区大会	常陸太田市市民交流センター パルティホール
バレーボール部	11/16(土)	秋季大会	日立工業高校

<http://www.hitachi.co.jp/Div/tech-school/high/index.html>

卒業後5年・10年の集いを開催します。

卒業して5年、10年が経過した節目に、有志による交流会を本年度より企画しました。目的としては、工場配属後、5年、又は10年の同期が悩みや相談、そして生徒からすると先輩の話やアドバイスを受ける良い機会となります。

- 一、期 日 12月14日(土)
- 二、場 所 日専寮2階食堂
- 三、参加者 99回生、94回生
- 四、時間割

- ① 11時40分 集合
- ② 12時~12時45分 昼食会
- ③ 12時45分~14時10分

校内見学(在校生案内)

- ④ 14時15分~15時 交流会(99・94回生・在校生)
- ⑤ 15時~16時 コミュニケーション研修
- ⑥ 16時 懇親会(希望者会費千円)
- ⑦ 18時 解散

申込みは、日専校(歌川)宛てにお申し込み下さい。

☎ 080-7758-5322
同窓会事務局でも受付致します。

第44回 「わが宿の集い」

白い大陸「南極」の自然と生活について

元越冬隊員 戸村紀一氏(58卒)が講演

第44回「わが宿の集い」が、2019年6月21日(金)午後1時から同窓会館で開催され、75人が参加し大盛会となった。

講演は、昭和の南極越冬隊員、戸村紀一氏(58卒)が、「白い大陸『南極』の自然と生活」と題し行った。

氏は大子町の出身で、軽妙な？大子弁を交えての講演で会場は笑いの渦に包まれた。

氏は20代で南極越冬隊員(昭和55年から2年間)に指名され、今とは違う大変な環境で2年間の越冬隊員の任務を遂行した。

会場入口には、当時の「第22次南極越冬隊 戸村紀一君の健闘を祈る」の激励幕が張られた。工場幹部職場の仲間からたくさん激励の言葉が記載され、戸村氏に寄せる期待の大きさを感ずることが出来た。また、脇には現地で使用した当時の防寒服、帽子と南極から持ち帰った



約40年前の貴重な体験を熱っぽく語る戸村氏

石など貴重な資料が展示され、参加者の関心を引き付けた。

越冬隊員に選ばれるには、現地での過酷な環境に耐えることが可能かどうか厳しい資格審査(体調、精神面が強靱であること)にパスしなければならぬ。

氏の現地での任務は発電設備などのメンテナンスが主な業務であった。設備の停止は、厳寒の地での隊員の生活に直ちに影響して大変な事態になるので、昼夜を問わずメンテナンスに精進されたそうである。

また、この時代はまだ、インターネットは無く、家族とのやりとりは電報・電話のみで短時間しか会話ができないが、大きな活力源になったとのことである。



八丁は手から口へ、今回は足を披露する多芸な上野氏

現地ではオーロラ、沈まぬ太陽など大変貴重な自然現象やペンギン・アザラシ達など可愛い動物達との交流を体験した。

予定時間を大幅に超過し、まだまだ話したいことがたくさんあったようだったが万雷の拍手で終了した。

余興は、芸名「響 武」こと上野武氏(46卒)による「タップダンス」と「ウクレレ演奏」。

氏の多趣味・多芸は有名で、以前の「わが宿の集い」では、なんと落語を一席。

今回は得意な分野に挑戦。まずはウクレレ演奏で美声を披露。会場の皆さんも自然と一緒にリズムに乗って歌声を満喫。氏のウクレレは、元ドリフターズの高木ブー氏の門下生となつて習得したとのこと。大変な努力家である。

人前では緊張すると言っていたが事前のリハーサルを入念に行い、当日のタップダンスでは軽快なリズムに乗り、見事な足さばきを披露して会場の雰囲気盛り上げた。

本人がアレンジした「JR機関車 笑点のテーマ、三・三・七拍子」等を披露。喜寿にも関わらず見事な足さばきが健康の秘訣となっているようだ。

最後には自己PRも忘れない。CD、DVDで自ら作詞した「あま宮田川」、「河原子の烏帽子岩」、「袋田慕情」を発売しているとのこと。興味のある方は是非一枚購入されては。作品展示は、プロ顔負けの風景写真を得意とする萩野谷泰伸氏(50卒)の「残したい原風景」と題した写真展。

氏は全国の「棚田」の美しさに魅せられ、最近では新しくできた佐渡島の棚田の他、長野、石川、千葉、三重、愛媛、佐賀県等々の全国の棚田を求めて行脚。

その時期にか撮影出来な原風景なので、現地でシャッターチャンスをつのは大変な辛抱が必要かと思われる。

同窓会報新年号のトップを飾るカラー写真の常連でもある。

今も、あちこちで写真展を開催しておりエネ



萩野谷氏の写真「受け継がれる棚田」。棚田と聞けば全国どこへでも

ルギッシュに日々活躍されている。作品は、「降り注ぐ温光」「雪融けを待つ」「黄金色に染まる」「早苗田潤う」「受け継がれる棚田」など、朝夕の光、霧など大変幻想的かつ芸術性に富む写真である。

懇親会では、同期生が自然と輪を作り、近況報告、趣味、孫の成長、健康の話等々。皆さんののを潤し、話題が尽きぬなか、佐藤正敏企画小委員会主催の閉会の言葉で幕を閉じた。

次回、11月15日(金)の「わが宿の集い」で元氣にお会いしましょう。(53卒 佐藤茂次)

ひたちなか地区

第11回懇親会を開催

2019年3月7日(木) ひたち

なか市内の日本料理「いさ美」にて恒例の第11回ひたちなか地区懇親会を開催した。参加人員は22人で例年より少なめの会となった。

関根幸一地区長(44卒)の開会挨拶で開始し、本日よりお招きした豊田和明日工同窓会本部会員運営委員会主査(49卒)の挨拶と運営委員会報告及び日専校の現状についての報告をいただいた。併せて氏の行っている竹炭作りの秘策を伝授していただき出来立ての竹炭が出席者全員に配布された。

豊田さんーありがとうございました。



来賓の豊田主査から竹炭作りの秘伝教授とともに「竹炭のおみやげ」まで、参加者一同感謝&感謝

懇親会は漆原昇先輩(40卒)による乾杯の音頭でスタートした。会場では、日頃接する機会の少ない先輩、同期、後輩との懐かしい思い出話による交流で同窓生間の絆が

より一層深くなった。通信員の紹介後、カラオケに移行し、各自日頃の美声を披露(疲労?)してのど自慢大会さながらの宴となった。終盤には、元コーラス部の志田政敏氏(44卒)の指揮で、出席者全員が輪になって校歌と寮歌を大声で斉唱した。さらに、菊池敏明氏(56卒)のリードによりエル「フレ」、フレ「日専校」を行った。結びに、綿引明副地区長(43卒)による閉会の言葉で、名残惜しくも次回開催時の再会を誓って盛会裏に散会となった。(53卒 吉澤多喜雄)

46卒喜寿を祝して 同期会を開催

2019年4月11・12日、国民宿舎「鶴の岬」にて、22人の参加で46卒同期会を開催した。今回の喜寿を祝う集いは、還暦祝いの第1回から数えて、7回目である。

先ず宴会場で、従業員の「イー、ニッコリ」の合図とともに記念撮影を済ませた。

懇親会に先立ち、前回開催からの3年間に、物故となられた2人を偲んで黙とうし冥福を祈った。

次いで、永盛君の司会で会に入り、卒回代表の挨拶の後、東京より参加の石黒君の音頭で、声高らかに乾杯

をした。宴会ではおいしい料理を味わい、盃を酌み交わし、懐かしさと楽しいひと時を過ごした。酔う前に、参加者それぞれの近況報告を行った。現在も仕事を続ける者、地域社会で活動に協力する者、趣味で山歩きや旅行等を元気に楽しむ者があった。反面、体調不良による薬の服用を余儀なくされた者等、喜寿の年齢を感じた。

最後に 樋田君の指揮で、校歌・寮歌を斉唱して、一次会を終了。

二次会は幹事部屋へ移動し、日専校当時の青春を振り返り、楽しかったことや苦しかったことなどを、夜の更ける

のも忘れて語りあい、笑顔で眠りについた。

翌朝は、展望風呂で、太平洋からのまぶゆい朝日を浴びて感動し、バッキング形式の朝食をとった。「祝喜寿の紅白饅頭」を土産に、次回の再会(傘寿の祝)を約束し、散会した。(大高克二)



喜寿なんて途中経過、まだまだ元気！傘寿・卒寿を目指す仲間たち

茨城の名湯「湯の澤鉱泉」で

51同期会を開催

2019年5月24日・25日に茨城県でただひとつの「日本秘湯を守る会」会員旅館であり、150年の歴史を誇る名湯「湯の澤鉱泉」（常陸大宮市）で51卒の同期会を開催した。古希までは不定期だったのを、古

希の年に会の名前を「51会」にする

るとともに、2年に1回の定期開催として、早いもので通算7回目となった。

当日は広島、千葉、福島等遠方からの会員も含め、16人の同期生が集合した。宴会場には新旧の日専校舎と入学時のかわいい顔が並ぶクラス写真の拡大版



2019.5.24 於: (湯の澤鉱泉)

スローガンも次回の日程も決まり、隔年開催が定着した「51会」

が揭示された。

生田目会長の挨拶で静かに始まった宴会も、自分自身の近況報告や不参加者の情報等、2年間の隙間を埋めるべく話はずんだ。地域の人達との交流に力を注いでいる後藤君が「マジック」「パブリックダンス」「タップダンス」「ドジョウすくい」を披露して大いに盛り上がった。翌日の朝食時に改めて各自の近況

を報告し、次回の開催日を2年先の5月21日・22日と決め、スローガンも「集まれ友よ！君に会いたい」とした。

旅館の前で全員の集合写真を撮り、楽しかった2日間の同期会を終えた。(呉・田中徹)

国民宿舎・鶴の岬で

「55回生同期会」を開催

2019年6月21日（金）22日（土）、今年も「国民宿舎・鶴の岬」にて、遠方からは名古屋の照沼君、埼玉の篠原君が参加し、総勢24人で55回生第8同期会を開催した。司会進行は初回到戻り三村君が担当、幹事を代表して大森君が挨拶を行い、経過報告と会計報告の後、再会を祝して乾杯し、懇親会に移った。宴会が盛り上がった所で、同期会開催当日の茨城新聞に、城里町社会福祉協議会広報誌編集ボランティアとして仲田君、三村君が掲載されたことから、その活動内容の紹介を仲田君にお願いした。照沼君からは名古屋での茨城県人会の活動状況の紹介、助川君、大橋君には近況報告を

してもらった。その後は、久しぶりの旧友との出会いに、思い思いに歓談したり、カラオケに熱唱する者など、大いに盛り上がった。アツと言う間に2時間30分の予定

時間は経過し、最後は全員が輪となって加藤精男君のリードで寮歌、校歌を熱唱し、三本締めでお開きとなった。

懇親会終了後は、幹事の部屋で二次会に参加したり、各部屋では学生時代や工場生活の思い出、近況報告を語り合うなど、旧交を存分にあたためた。

翌朝は、地上8階にある展望温泉風呂で朝日を眺めながらの入浴、レストランで朝食をとるながらの歓談を行い、来年の再開を約束して散会した。今回参加出来なかった者の理由は、現役で仕事に従事していたり、家族



名古屋など遠方からの参加者も交えて毎年開催し、既に8回目、毎回盛り上がりは最高だ

旅行や体調不良などである。今回の参加率は32%であったが、来年は体調を整え都合を付けて、是非、同期諸君の参加をこの紙面を通して、お願いする。(豊田英雄)

部活動訪問

剣道部

春の県北大大会

団体は

4年ぶりの奪還、

個人は2連覇達成



団体戦 Aチームが4年振りの奪還

4月29日(月)、30日(火)、日立市のサンピアひたちにおいて春季県北大大会が開催された。初日の29日は団体戦である。昨年の大会では決勝戦まで勝ち上がり、大将戦までもつれる試合となったが惜しくも日立北に敗れ優勝を逃して

いる。今年は何としても雪辱を晴らしたいところだ。

科技高からは2チームが出場。Bチームは一回戦で多賀を下したが、二回戦で昨年の覇者日立北に1-3で退けられた。一方の第二シードのAチームは二回戦で高萩清松に5-10で勝利、準決勝の日立商業戦も4-0と危なげない試合運びで決勝に進出した。

相手はBチームを下した日立北。

昨年同様に接戦が予想されたが、先鋒の藤田君が胴、面を決めて見事に二本勝ち。これで勢いに乗ると続く次鋒安田君は面、面と決め二本勝ち、一気に王手を掛ける。中堅森山君は胴を決めて先制するとそのまま逃げ切つて勝負あり。団体戦の優勝を決めた。団体戦の勝敗は

決したが副将、大将の試合も行われる。副将野島君は互いに面一本づつの状態から、面を決めて2-1で勝利。大将菅原君は面で先行したが追いつかれそのまま時間切れ引き分け。二回戦から決勝まで一つの負けも許さない完璧な内容で見事4年ぶりの奪還を果たした。

続く30日の個人戦。昨年の大会で2年生ながら優勝を果たした菅原君の連覇達成に期待が掛るところだが、他校の2・3年生はもちろ



左から 藤田君(敢闘賞)、森山君(準優勝)、菅原君(優勝)、谷口君(第3位)

んのこと、1年生にも実力者が揃っている。そんな中でも昨日の勢いそのままに、科技高選手が輝きを放つた。Aブロックでは菅原君が二回戦から準決勝までの5試合すべてを相手に一本もポイントを与えない二本勝ちで圧巻の試合運びで決勝進出。また1年生の藤田君がベスト8で敢闘賞を受賞。一方のBブロックでは初戦から4試合相手に一本もポイントを与えないで勝ち上がった森山君と、4試合とも一本勝ちながらこちらも相手に一本もポイントを与えない谷口君が準決勝で激突。延長戦の末森山君が面を決め決勝に駒を進めた。決勝戦は手の内を知り尽くしている同士の対戦であったが、結果は面、面と決めた菅原君がオール二本勝ちで連覇を果たした。正々堂々と勝負に臨む2人の姿は見ているこちらにも清々しさを感じさせてくれる決勝戦となった。

関東大会県予選、

団体戦大健闘

5月13日(月)茨城県武道館において関東大会茨城県予選が開催された。この大会では上位5校に東京都東京武道館で開催される関東大会の出場権が与えられる。試合は

①8つのブロックに分かれ予選トーナメントを行い各ブロック1校が勝ち上がり

②2ブロックに分かれて決勝リーグ、リーグ4位は敗退

③決勝リーグの1位同士、2位同士、3位同士による順位決定戦

を行うことになっている。茨城県の高校剣道のレベルは全国優勝を狙える高校が複数あり、水戸葵陵、土浦日大、茗溪学園、土浦湖北の4校が抜きん出ているが、今回の組合せはこの4校とは別の予選トーナメントとなったため、何としても決勝リーグに勝ち上がり、残りの1枠を掴みたいところだ。

一回戦の竜ヶ崎一戦は先鋒藤田君、次鋒安田君、中堅森山君、副将野島君、大将菅原君の全員が勝利し、勝利数5-0で順調な滑り出しとなった。

二回戦の水戸一戦も先鋒から副将までの4人が勝利、大将は引き分けとなったが勝利数4-0でここも

危なげなく勝ち上がった。

三回戦の相手は常総学院、これに勝てば予選トーナメント突破となるが相手も強豪であり一筋縄では行きそうにない。先鋒藤田君は胴で先行し、そのまま時間切れ一本勝ち。次鋒安田君は小手を奪われるも、小手を返してポイントで追いつきそのまま引き分けとなる。中堅森山君は4分の試合時間内で双方有効打突がなく、2分間の延長戦となり小手を奪われて一本負け。これで勝ち数、有効打突数で五分となる。続く副将野島君で先勝して優位に立ちたいところだったが、胴を奪われ先行を許しそのまま時間切れ一本負け。2人づつての負けとは言え、最少の差で留まられたのは「貢献」という言葉で評価できるだろう。科技高日立が勝ち上がるためには、大将菅原君に引き分け以下は許されない厳しい状況である。最低でも一本勝ちが欲しいところであるが、4分間で互いに有効打突を得ることができず2分間の延長戦へ。この2分間で有効打突が奪えなければ科技高日立の敗退決定であるが、ここで起死回生の小手を決めて勝ち数2-2、有効打突数3-3とし、代表による一本勝負に持ち込んだ。代表戦は双方とも大将が代表となり勝敗の行方は菅原君に託されたが、大将戦を勝利した勢いそのまま小手を決めて予選トーナメ

(10頁の続き)
ントを通過した。

決勝リーグでは上位2校に入れば
関東大会への出場権を得ることがで
きるが、第一試合土浦湖北に1-
4、第二試合は土浦日大に1-4
と立て続けに敗れ、残す第三試合に
勝利し、さらに5-6位決定戦に
勝利しなければならなくなった。第
三試合の相手は日立北。先日の県北
大会で圧勝しており科技高日立とし
ては分の良い相手となった。

先鋒藤田君は面二本を決めて勝利
幸先の良い滑り出しとなる。しかし
次鋒安田君が相手に粘られ互いに有
効打突がなく引き分けると、中堅森
山君は面で先制され一本負け、この
試合から交代した副将谷口君も延長
の末に面を奪われ、勝ち数1-2、
有効打突数2-2とリードを許し
てしまうまさかの展開となる。大将
菅原君は果敢に攻め込むも互いにポ
イントを奪えず延長戦に突入、残り
時間もわずかなったところで菅原君
の竹刀が相手の小手を捉えて勝負あ
り。土壇場で勝ち数を五分とし、有
効打突数で上回り5-6位決定戦
の権利を得た。

関東大会出場まであと1勝となつ
た相手は水城であり、ここ数年実力
を上げてきている強豪チームである。
先鋒藤田君は面で先制を許しそのま
ま時間切れで一本負け。これまで勝
利した試合は先鋒で先制してきたが

序盤から苦しい展開となる。続く次
鋒安田君で巻き返しを図りたいとこ
ろだが、面、小手と二本奪われてし
まい、さらに苦しい状況となる。中堅
森山君は胴を決めて一本勝ち、勝ち
数一つ戻す。副将谷口君は負けが
許されない状況の中で引き分けに持
ち込む、勝ち星を返したいところで
はあつたが勝負を大将戦に繋ぐ。こ
の時点で勝ち数1-2、有効打突
数1-3であり、科技高日立が関
東大会に出場できる条件は、大将戦
で相手に一本も与えずに二本勝ちし、
さらに代表による一本勝負を制する
必要がある。大将はもちろん菅原君
この日二度の逆転をしてきただけに
3度目の逆転に期待がかかる。しか
しこの日8試合目となる影響か、或
いは一本も許せないプレッシャーか
らか動きが硬く、攻め入ることがで
きない。一瞬の隙を突かれ小手を許
してしまい万事休す。まさにあと一
歩のところまで夢かなわず涙を呑んだ。
これまで数年間剣道部の試合を取
材してきたが、中でも今年のチーム
は実力が充実しており、部員諸君も
関東大会出場に手応えを感じていた
と思う。

秋季関東大会県予選ではシードを
獲得し、関東大会出場への夢は繋が
ることとなった。新チームの活躍を
期待するとともに、同窓会員諸氏か
らの応援を切に望む。

(76卒 木村 昇)

会員の消息

◎結婚

おめでとう
ご報告です



◎定年退職

ご苦労さま
でした



古館 末男氏(62卒・本 部 18・11・30)

(12頁へ続く)

(11頁の続き)

◎家族死

石戸 友氏 (77卒) 立 (母) 7.3
 鈴木 祐一氏 (71卒) 高 (母) 7.8
 生田 晃一氏 (79卒) 浦 (母) 7.25
 阿部 晴希氏 (94卒) 浦 (母) 7.28
 佐藤 好文氏 (74卒) 高 (母) 8.3
 木村 慎吾氏 (88卒) 賀 (母) 8.18
 薄井 英吉氏 (81卒) 賀 (母) 8.19

◎ご家族逝去
 お悔やみ申し上げます

◎退職

川端 康介氏 (94卒) 厚 木 2.28
 櫻庭 康祐氏 (101卒) 厚 木 2.28
 須藤 隆氏 (84卒) 日 立 6.30
 藤原 啓士氏 (79卒) 栃 木 7.31

木村 和弘氏 (63卒) 大 6.30
 菊地 学氏 (63卒) 多 6.30
 出口 忠氏 (63卒) 那 6.30
 鬼澤 一夫氏 (63卒) 土 6.30
 仲村 健一氏 (63卒) 大 7.31
 鈴木 勝一氏 (63卒) 大 7.31
 杉本 裕一氏 (63卒) 日 7.31
 高木 誠吾氏 (63卒) 日 7.31
 西野 靖徳氏 (63卒) 水 7.31
 大内 英雄氏 (63卒) 日 7.31
 高野 満氏 (63卒) 日 7.31
 本間 光秋氏 (63卒) 桜 7.30

～ ぜひ、ご家族やお知り合いにオススメください！～

日立工業専修学校
 (略称：日専校)

中学3年生の皆さんへ 2020年度 新入生募集



日立工業専修学校

(科学技術学園高等学校日立)

高等専修学校
 全日制(3年)
 男女共学

「日専校」は、あなたを待っています

- ・卒業生は日立グループに就職
- ・学費、寮費、食費負担なし
- ・技能五輪全国大会出場(7年連続)
- ・国家技能資格(旋盤2級・JIS検定等)を取得
- ・全寮制・全員部活動
- ・海外研修(自己負担なし)
- ・高等学校卒業資格取得

募集人員	約65名
応募資格	2020年3月中学校卒業見込みで ①モノづくりに興味を持つ方 ②本校を第一志望とする方
願書受付	2019年11月14日(木)～22日(金)郵送必着
試験科目	面接・学力試験(数学・国語・英語)
試験日	①学力試験：2019年12月4日(水) ②面接：2019年12月4日(水)と5日(木)のいずれか1日
試験会場	茨城(日立市本校)、東京(上野)、宮城(仙台)
合格発表	2019年12月16日本校ホームページに合格者番号掲載
入学確約	2020年1月8日までに就学諸経費140,000円納入

【問合せ先】
 〒316-0032 茨城県日立市西成沢町2-17-1
 (株)日立製作所 日立工業専修学校 募集グループ

TEL 0294-28-5009 FAX 0294-59-3100
 E-mail boshu@hitachi-tech.ac.jp
 お気軽にメールでご質問、ご相談ください



第45回 わが宿の集い開催のご案内

1. 開催日：令和元年11月15日(金) 13時～16時30分
2. 場所：日工同窓会館
3. 講演：演題「趣味の世界」 神代 光昭氏 (48卒)
4. 余興：ハーモニカの伴奏で懐かしい曲を楽しみましょう！
神代 光昭氏 (48卒)、榊原 愛正氏 (53卒)
5. 作品展示：「虫と草花」写真展 大内 正典氏 (52卒)
6. 懇親会

*懇親会でお酒を飲まれる方は、車での来場はご遠慮下さい。

第22回 NSゴルフコンペ開催のお知らせ

- ◆開催日：令和元年10月10日(木)
- ◆集合時間：7時～7時30分受付
スタート時間：8時05分
- ◆開催場所：日立ゴルフクラブ(Tel 0294-21-6136)

参加申し込みをされた本部会員は
当日忘れずに！

い。

を生かす為の準備を怠ってはならな

(清隆・光彦)

▼広報担当になって多
 方面からの情報を入手
 できるようなったこ
 とから、いろいろな分
 野で同窓生が活躍していることを実
 感している。先輩方の功績の偉大さ、
 若い会員のエネルギーは無限である。
 良い結果を出すための準備ができて
 いるのだろうか。ある教育資料に、『い
 のししとキツネのはなし』というも
 のがある。いのししが木で牙を研い
 でいた。そばからキツネがこう言っ
 た。「何のつもりだね。そんな戦闘
 準備をしたって、敵なんかみえない
 じゃないか。」といのししはこう答
 えた。「敵が見えてからじゃ、間に
 合わないからね！」そう、準備に
 やり過ぎるということはない！。各
 分野で成功している人は「1日」で
 やり遂げられたのであろうか？否
 日々の努力の成果に他ならない。準
 備・努力をしても「結果」が得られ
 ないこともあるかも知れない。しか
 し、【結果】を出した人は間違いな
 く準備・努力をしている。チャンスを
 生かす為の準備を怠ってはならな

